

令和 7（2025）年度 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻 修士論文作成・提出に関する要領

社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻の学生が、修士論文を作成し、学位を取得するための手順と注意事項を以下にまとめます。該当者は下記事項を十分に理解し、指定された期日までに必要書類および修士論文を提出してください。また、提出すべき必要書類や論文サンプルについては、専攻 WEB の 2025 年度教務情報のページ <https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/ja/oncampus/kyomu2025> に示されている「修士論文作成・提出について」からダウンロードしてください（ダウンロード 1~3）。

1. 論文題目等の Google スプレッドシートでの連絡（1 月 5 日（月）正午締切）

令和 8（2026）年 1 月 5 日（月）正午までに、研究室教員が研究室ごとに以下の項目を取りまとめ、記入してください。

- 1) 主査の氏名および役職
- 2) 副査 2 名の氏名および役職
- 3) 論文題目

2. 学位論文審査願・論文目録の提出（1 月 8 日（木）正午締切）

令和 8（2026）年 1 月 8 日（木）正午までに、C クラスター事務区教務掛（地球系担当）に学位論文審査願・論文目録（ダウンロード 1）を提出してください。

- **書類提出後は、論文題目の変更はできません。** 修士論文の題目は、これらの資料の記述と英文の場合の大文字、小文字、イタリック等及び和訳題目を含め、同一であることが必要です。指導教員とよく相談の上、記入してください。
- 著者名は、原則、学籍氏名のとおりに記載してください。ローマ字の申請者は、全ての提出書類について、氏名の姓名の順・大文字・小文字等全て一致している必要がありますので、注意してください。
- 論文題目は、外国語の場合はその和訳も併記してください。

3. ポートフォリオの提出（1 月 23 日（金）正午締切）

ポートフォリオを最後まで記入して指導教員のサインをもらい、全ページをスキャンして PDF にした後、PDF データを PandA（サイト名：[2025 CE_UM] M2_Submission of Portfolio）から提出してください。原本の紙媒体の提出は不要です。社会基盤工学セミナー A/B、都市社会工学セミナー A/B の合否判定のための資料となるので、必ず期日までに提出してください。これまでサインの代わりに指導教員名を記入した欄についても、指導教員のサインをもらってください。

4. 履修分野修了証明申請書の提出（該当者のみ 1 月 23 日（金）正午締切）

専攻で定める履修分野（2024 年度大学院学修要覧 p.14 あるいは p.19 に記載）で定める科目群（<https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/ja/oncampus/kyomu2025/pfsubj> に掲載）を修得した場合は、ポートフォリオの最終ページへ記入して申請してください。

不明な点は、教務担当教員の橋本准教授（桂 C1-236 号室）あるいは C クラスター事務区教務掛（地球系担当）に問い合わせてください。

5. 修士論文の提出（2月6日（金）午後3時締切）

修士論文のPDFファイルを2月6日（金）正午から午後3時までに、PandA「研究論文（修士）」サイトの課題「修士論文の提出（3月修了）」に提出してください。

- 論文の書式に関しては、修士論文サンプル（[ダウンロード2](#)）を熟読し、指示に従ってください。
- ファイルのアップロードだけでは受理になりません。締切後、教務で論文の表紙に記載の事項と予め届け出た事項との照合を行います。1文字でも異なっていたら受理されません。提出物に問題がないか教務で確認し、PandA上で返却処理をしますので、PandAが確認できる状態で待機してください。
- 提出物に問題があれば修正箇所を指示したコメントを付けて返却します。この場合、再提出が必要です。指示に従い、速やかに修正したPDFファイルをアップロードしてください。
- 提出物に問題がなければ「受理しました」とコメントをつけて返却します。この場合、提出手続きは完了となり、待機も終了します。必ず、返却手続き、修正の場合はコメントの内容を確認してください。
- 論文提出後、速やかに主査、2名の副査の先生方に、各自、論文のコピーまたはPDFファイルを提出してください。提出方法等に関して事前に十分に主査・副査の先生方と連絡を取り、確実に指定の期日までに届くようにしてください。

6. 修士論文公聴会（2月17日（火））

修士論文の内容に関する公聴会を2月17日（火）に、桂キャンパスにて開催します。公聴会の時間割は1月下旬に通知する予定です。公聴会是对面形式での開催を予定しています。

- 審査発表会までに2ページの「論文概要」を作成し、発表が始まる前に配布してください。「論文概要」の書式は、修士論文概要サンプル（[ダウンロード3](#)）に従ってください。
- 液晶プロジェクター、論文概要、発表用PPTファイルを用いて15分の発表、5分間の質疑応答を行います。時間厳守に務めてください。

7. 修士論文審査会（2月18日（水））

修士論文の内容に関する審査を2月18日（水）に、桂キャンパスにて開催します。審査の会場と時間割は、1月下旬に通知する予定です。審査会是对面形式で開催されます。

- 時間と会場を事前に確認の上、当日は審査開始時刻の15分前までに会場前に集合してください。
- 審査では、主査と副査2名が公聴会での質疑応答も含めて、論文の詳細を試問します。同時に、論文の書き直しや論文概要の修正などがある場合には、指示があります。主査の指示に従い、修士論文、論文概要、その他公聴会で用いた資料等を持参してください。

8. 判定結果の通知（2月18日（水））

2月18日（水）の夕刻に合否結果を報告します。詳しい場所と時間は追って連絡します。

（注意）気象警報等で公聴会あるいは審査会が中止になった場合に備えて、2月19日（木）を予備日とします。予定を確保しておくようにしてください。

9. 修正済み修士論文原稿等の提出（2月27日（金）正午締切）

公聴会および審査等で指摘された事項等に関する修正を行って最終原稿を作成し、以下の2点を2月27日（金）正午までに、PandA「研究論文（修士）」サイトの「修正済み修士論文の提出（3月修了）」に提出してください。

- 1) 修正済み修士論文の PDF ファイル
- 2) 修正済み論文概要の PDF ファイル

PDF ファイルの作成に際しては、修士論文のサンプル（ダウンロード2）に記述された「PDF ファイルの作成方法について」を熟読し、指示に従ってください。論文概要に関しても、書き直し等が指摘された箇所は必ず修正してください。また、作成した修士論文、論文概要の PDF ファイルについては印刷するなどして内容に問題がないか、各自必ず確認するようにしてください。

以上

令和7（2025）年度 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻 修士課程修了に関するスケジュール

- 1. 修士論文作成・提出に関する要領の配布（令和7（2025）年12月1日（月））**
修士論文作成・提出に関する要領を電子メールにて配布する。学生は、要領にしたがって「学位論文審査願・論文目録」を専攻 WEB からダウンロードする。
 - 2. 論文題目等の Google スプレッドシートでの連絡（令和8（2026）年1月5日（月）正午 締切）**
 - 3. 学位論文審査願・論文目録の提出（令和8（2026）年1月8日（木）正午 締切）**
印刷物を学生が提出
 - 4. 公聴会・審査会の時間割の掲示（1月下旬）**
時間割等は1月下旬に掲示、ホームページを通じて連絡予定。
 - 5. ポートフォリオの提出（1月23日（金）正午 締切）**
 - ポートフォリオ全ページをスキャンして PDF とし、PandA から提出する。
 - ポートフォリオをもとに、社会基盤工学セミナーA/B(必修 8 単位)、都市社会工学セミナーA/B(必修 8 単位)の単位を合否で認定する。
 - 該当者は履修分野修了証明申請書を記入し提出する。
 - 6. 修士論文草稿の提出（2月6日（金）正午～午後3時 締切）**
 - 修士論文の PDF ファイルを PandA「研究論文（修士）」サイト内の課題「修士論文の提出（3月修了）」に提出する。
 - 学生各自から、論文コピー、あるいは PDF ファイルを主査および副査2名に届ける。
 - 7. 修士論文公聴会（2月17日（火））**
 - 公聴会を複数会場で行って実施予定。
 - 公聴会資料として論文概要を作成し、会場で配布する。
 - 8. 修士論文審査会（2月18日（水））**
 - 修士論文審査を複数会場で行って実施予定。
 - 全審査終了後、修士論文合否判定会議を実施する。
 - 判定会議終了後、191号室および192号室（予定）にて判定結果を通知するので、学生は全員出席のこと。
- （注意）公聴会、審査会の予備日（2月19日（木））**
- 9. 修正済修士論文の提出（2月27日（金）正午締切）**
以下の2点を PandA にて提出
 - 修正済み修士論文の PDF ファイル
 - 修正済み論文概要の PDF ファイル
 - 10. 修士学位授与式（3月23日（月））**